

令和9年度

**秋田大学総合環境理工学部
3年次編入学第2次学生募集要項**

秋田大学総合環境理工学部

入学志願者の個人情報保護について

本学では提出された出願書類から志願者の個人情報を取得し、また、入学試験の実施により受験者の個人情報を取得しますが、これらの個人情報は、下記の目的で利用します。

【利用目的】

- 入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む。）に利用します。
- 入学手続完了者にとっては、入学後の学籍管理、学習指導、学生支援関係業務および授業料徴収業務に利用します。

目 次

総合環境理工学部のアドミッション・ポリシー	1
I. 編入学の年次等	6
II. 募集コース・募集人員・出願手続き等	6
1. 募集コース・募集人員および関連学科・コース	6
2. 出願資格	6
3. 出願手続	7
4. 選抜方法	10
5. 試験の日程等	12
6. 合格者の発表	12
III. 共通事項	12
1. 関連学科・コースの判断について	12
2. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について	13
3. 感染症に関する注意事項	13
4. 受験上の注意事項（各入試区分共通）	13
5. 入学手続	13
6. 個人の成績等の開示	14
本学部所定の用紙	
1. 志願票・受験票・写真票	
2. 調査書	
3. 受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談書	
4. 宛名票	
5. 出願用封筒	
6. 受験票等送付用封筒	

総合環境理工学部のアドミッション・ポリシー

◆育てる人間像

総合環境理工学部では、理工学に関する高い専門性を身に付け、かつ、他者と共創して柔軟で総合的に課題を解決できる人、また、自然環境や環境技術について正しい知識を身に付け、高い倫理観を持ち、科学技術による環境問題の解決に貢献できる人を育成します。世界や地域で活躍できるこのような人材を輩出するために、次のような能力と意欲をもつ人を入学者として求めます。

●求める人物像

1. 科学技術を学ぶために必要な基礎学力を身に付けた人
2. グリーン社会の実現に興味があり、積極的に自己学習のできる人
3. 研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

【応用化学生物学科】

●求める人物像

さまざまな社会の課題の解決に向けて化学と生物学を総合した科学技術を柔軟に活用できる人材を養成するために、次のような人を入学者として求めます。

1. 化学と生物学のいずれかまたは両方に興味を持つ人
2. 化学と生物学を基盤とした科学技術を修得し、人の健康や持続可能な社会の実現に関わる課題の解決に取り組みたい人
3. 研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

[有機・高分子化学コース]

●求める人物像

1. 有機化学や高分子化学（人工高分子・生体高分子を含む）に興味を持つ人
2. 有機化学や高分子化学を基盤とした科学技術を修得し、人の健康や持続可能な社会の実現に関わる課題の解決に取り組みたい人
3. 研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

●入学者選抜の基本方針《3年次編入学試験第2次学生募集》

有機・高分子化学コースにおいて高度な専門性を身に付けるため、十分な基礎学力と旺盛な勉学意欲を持つ人を求めます。そのため、調査書、学力検査（TOEIC[®]のスコア）および面接試問（数学および専門科目(化学)に関する試問等を含む）から、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。

[応用化学コース]

●求める人物像

1. 化学や物理が好きで、探究心が旺盛な人
2. 化学現象の解明や環境および新エネルギーに関わる未来物質の開発に興味のある人
3. 国際的に活躍する化学ならびに材料開発に関わる技術者・研究者を目指す強い意欲のある人

●入学者選抜の基本方針《3年次編入学試験第2次学生募集》

理工科系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人、大学の理工系学部で2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人、または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で、理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため、学力検査（TOEIC®のスコア）および面接（数学、化学および物理の基礎の試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

【環境数物科学科】

●求める人物像

数学、理論物理学、地球科学、または、先端電子機器や機能材料の知識を学び、加えて、高度なデータ解析・AI技術を習得し、地球環境の課題解決やグリーン社会の実現を志す人材を養成するために、次のような人を入学者として求めます。

1. 数学、物理学、地学のいずれかに興味を持つ人
2. 数理科学の知識を駆使して科学の真理を明らかにするとともに地球環境などの諸課題に取り組む人や物理学を活用した新テクノロジーや新機能素材の開発によって世界と地域のイノベーションを目指す人
3. 研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

【数理科学・地球環境学コース】

●求める人物像

1. 数学、物理学、計算機科学、地球科学に興味を持ち深く学んでみたい人
2. 論理的かつ客観的な視点で粘り強く考えることが好きな人
3. 自然の原理や仕組みについて考えたり話したりすることを楽しく感じる人

●入学者選抜の基本方針《3年次編入学試験第2次学生募集》

理工科系または数理科学の応用系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人、大学の理工系学部または数理科学の応用を行う学部学科等に2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人、または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で、数理科学の関連分野または地球科学におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため、学力検査（TOEIC®のスコア）および面接（数学および数理科学専門または地球科学の試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

[機能デバイス物理コース]

●求める人物像

1. 数学や物理や化学が好きで、探求心が旺盛な人
2. 発展する科学技術の基礎となる磁性材料、電子・光学材料、半導体材料、センサー材料、環境・新エネルギー材料に興味がある人
3. 環境に調和した創意や工夫にあふれる光・電子デバイス、人にやさしく知的な情報通信機器などに興味のある人
4. 最先端の機能性材料・エレクトロニクス分野において、創造性を発揮して国際的に活躍する技術者や研究者を目指す意欲のある人

●入学者選抜の基本方針《3年次編入学試験第2次学生募集》

理工科系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人、大学の理工系学部で2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人、または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で、理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため、学力検査（TOEIC[®]のスコア）および面接（数学および材料理工系または電気電子系の専門教育科目の基礎の試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

[社会システム工学科]

●求める人物像

持続可能な社会の実現に寄与できるモビリティ、電気システム、または社会基盤に関する高い専門性とそれを拡充する学際知識を身に付けた人材を養成するために、次のような人を入学者として求めます。

1. 数学、物理学、化学のいずれかに興味を持つ人
2. 社会の持続的発展の必要性を理解し、その実現に向けた創造的な技術開発に挑戦したい人
3. 研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

[モビリティコース]

●求める人物像

1. 数学や物理などの自然科学の知識をベースとして工学の基礎学力を高めたい人
2. 力学、制御および設計を学び、ものづくりによりエンジニアの素養を得たい人
3. 輸送機械の電動化や環境にやさしい機械および再生可能エネルギー開発の分野に興味を持ち、深く学びたい人

●入学者選抜の基本方針《3年次編入学試験第2次学生募集》

理工科系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人、大学の理工系学部で2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人、または外国において学校教育における14年の

課程を修了した人またはその見込みの人で、理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため、学力検査（TOEIC[®]のスコア）および面接（数学および機械工学または材料工学の専門教育科目の基礎に関する試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

[電気システムコース]

●求める人物像

1. 数学や物理が好きで、ものやシステムの原理や仕組みを論理的に思考・理解しようとする人
2. 脱炭素社会の実現に必要な輸送機の電動化や、再生可能エネルギーを積極的に導入したエネルギーシステムなど、環境と調和した社会システムの構築に寄与できる技術に興味のある人
3. 創造性を発揮して国際的に活躍する最先端の電気システム分野の技術者や研究者を目指す意欲のある人

●入学者選抜の基本方針《3年次編入学試験第2次学生募集》

理工科系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人、大学の理工系学部で2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人、または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で、理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため、学力検査（TOEIC[®]のスコア）および面接（数学および電気電子工学の専門教育科目の基礎の試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

[社会基盤コース]

●求める人物像

1. 数学や物理などの自然科学の知識を社会基盤の整備と維持管理、ならびに発展に活かしたい人
2. すべての人が安心して生活できる社会基盤をつくるには、どうすればよいのかに興味がある人
3. 自然環境と人間環境が調和した社会基盤の整備と発展に役立ちたい人

●入学者選抜の基本方針《3年次編入学試験第2次学生募集》

理工科系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人、大学の理工系学部で2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人、または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で、理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため、学力検査（TOEIC[®]のスコア）および面接（数学および土木環境工学に関す

る基礎の試問を含む）を行い「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目（各コース共通）

入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力 ・表現力	主体性を持って多様な 人々と共同して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)
一般教育科目（英語・数学）	○	○	
面接（口頭試問含む）	○	○	○
調査書			○

I. 編入学の年次等

合格者の編入学時期は、試験実施年度の翌年度の4月とし、編入年次は本学3年次となります。ただし、出身学校において修得した単位の全部、または一部を各コースに設定された授業科目とみなし、卒業要件の単位として認定しますが、認定される単位数によっては2年間で卒業できない場合があります。

II. 募集コース・募集人員・出願手続き等

1. 募集コース、募集人員および関連学科・コース

学 科	コ ー ス	募集人員	関連学科・コース
応用化学生物学科	有機・高分子化学コース	若干名	物質工学コースや化学・バイオ系、化学・生物コース、マテリアル・バイオ工学コースおよびこれらの関連学科・コース
	応用化学コース		物質工学科、応用化学科、材料工学科およびこれらの関連学科・コース
環境数物科学科	数理科学・地球環境学コース	若干名	情報工学科、電気電子情報工学科、環境工学科、応用科学コースおよびこれらの関連学科・コース
	機能デバイス物理コース		材料工学科、物質工学科、電子工学科、情報工学科およびこれらの関連学科・コース
社会システム工学科	モビリティコース	若干名	物質工学科、環境材料工学科、マテリアル環境工学科、マテリアル環境コース、機械工学科、機械システム工学科、機械電気工学科、生産システム工学科、知能機械工学科、ものづくり工学科、産業システム工学科、創造工学科、未来創造工学科、総合工学科などのうちの機械系、航空宇宙系の分野、およびこれらの関連学科・コース
	電気システムコース		電気工学科、電子工学科、電子制御工学科およびこれらの関連学科・コース
	社会基盤コース		土木工学科および関連学科・コース

2. 出願資格

次の(1)から(3)のすべてに該当する者

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等専門学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者
- ② 短期大学を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者
- ③ 大学を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者
- ④ 大学に2年以上在学し、64単位以上を修得した者および令和9年3月修得見込みの者（令和9年3月末に2年以上在学となる者を含む。ただし、本学部在籍中の者は含まない。）
- ⑤ 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が1,700時間以上であるもの）を修了した者および令和9年3月修了見込みの者（いずれも学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）

⑥ 高等学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすもの）を修了した者および令和9年3月修了見込みの者（いずれも学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）

⑦ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者および令和9年3月修了見込みの者

※上記の出願資格に関し、外国の学校教育にかかる要件をもとに出願する者は、これまでの在学歴等を事前に確認のうえ、以下に定める出願書類の他、追加で書類提出を求める場合があるので、出願期間前に入試課に問い合わせてください。

(2) 令和7年（2025年）4月1日以降に受験したTOEIC® Listening&Reading TestまたはTOEIC® Listening&Reading IPテスト（オンラインテストを除く）のいずれかのスコアが400点以上である者および令和9年（2027年）3月31日までに取得見込みである者

(3) 原則として、所属学校等において、志望する本学部の学科・コースと関連した分野の学科・コース等に所属しているまたは所属していた者

※(3)については、Ⅲ.共通事項を確認のうえ、必ず問い合わせをすること。問い合わせをしないまま出願をした場合は、出願を認めないことがあります。

3. 出願手続

(1) 出願書類等

※本学部所定の出願書類は秋田大学入試課に資料請求してください。

資料請求の方法は、秋田大学総合環境理工学部ホームページ「入試情報」から確認してください。

書 類 等	適 用
①編入学志願票	本学部所定の志願票に下記により記入してください。 ・選抜区分：「一般入試」をチェックしてください。 ・受験番号：記入しないでください。 ・氏名(ふりがな)：楷書で記入し、ふりがなを付けてください。 ・生年月日等：生年月日を記入し、男・女いずれかを○で囲んでください。 ・出願資格：出願資格を記入し、該当箇所を○で囲んでください。 ・志望コース：志望するコースを記入してください。 ・本人が諸通知を受ける場所：合格通知書等を受ける場所を記入してください。 ・上記以外の連絡先：保護者等の住所を記入してください。 ・履歴 (学歴)：高等学校・高等専門学校入学以降について記入してください。 (職歴)：職歴がある場合は記入してください。
②受験票・写真票	本学部所定の用紙に氏名、志望コースを記入し、写真（正面、上半身、脱帽で出願前3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。

③検 定 料	検定料は30,000円です。以下の秋田大学オンライン決済システムから必要事項を入力の上、お支払いください。(株式会社キャリアタスの決済システムに移動します。) https://e-apply.jp/ds/akita-u-oln/public/login ※初回利用時に「ゲストユーザー登録」をお願いします。 <u>※支払い後にマイページの決済履歴から「領収書」を印刷の上、出願書類と共に送付してください。</u> ※払い込み手数料については受験者にて負担願います。 原則として令和8年9月16日(水)以降出願前までに振り込んでください。上記システムが利用できない場合は、至急秋田大学入試課理工担当(電話：018-889-2313)まで連絡をしてください。 出願手続完了後は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しません。ただし、検定料の払込後に出願しなかった場合は、検定料を返還しますので、原則として令和8年10月13日(火)から10月19日(月)までの間に、経理・調達課出納担当(電話：018-889-2234, 受付時間9:00～17:00(土・日・祝を除く))に申し出てください。
④TOEIC[®] Listening&Reading TestのOfficial Score Certificate (公式認定証) または TOEIC[®] Listening&Reading IPテストのスコアレポート (個人成績表)	TOEIC[®] Listening&Reading Testの場合は、TOEICのウェブサイトからダウンロードしたデジタル公式認定証を印刷して提出してください。TOEIC[®] Listening&Reading IPテストの場合は、スコアレポート(個人成績表)の原本を提出してください。ただし、TOEIC[®] Listening&Reading IPオンラインテストの結果は提出不可とします。 <u>テスト実施日が、2025年(令和7年)4月1日以降のものを提出してください。</u> 400点以上のスコアを取得見込みで出願する場合は、出願時点のスコアが記載されたデジタル公式認定証またはスコアレポート(個人成績表)を提出し、400点以上のスコアを取得次第、至急追加提出してください。 出願期間までに提出が間に合わない場合は入試課へ問い合わせてください。 受理した書類は、返還しません。また、願書提出後のスコアの追加は認めません。
⑤調 査 書	本学部所定の様式により、在学学(校)長が作成し厳封したもの。 出願資格(1)の④該当者で履修中の科目がある場合は、履修中の科目に関する証明書を添付してください。 「成績」および「席次」の欄については、前学年(既卒者の場合は最終学年)における「成績」(例:優,良,可)およびクラス等での「席次」(何人中何位)を記入してください。もし、「成績」および「席次」を算出していない場合は、その理由を記入してください。
⑥卒業(見込)証明書	出願資格(1)の①②③⑤⑥⑦該当者 出願資格(1)の⑤該当者は専修学校入学前の学校の卒業証明書を提出してください。
⑦在学(期間)証明書	出願資格(1)の④該当者 なお、在学証明書には入学年月日を記入してください。

⑧専門士取得（見込） 証明書または修了 （見込）証明書	出願資格(1)の⑤該当者 なお、修了（見込）証明書提出者は、出願資格の専修学校専門課程であることの証明書を添付してください。
⑨高等学校等専攻科修了 （見込）証明書	出願資格(1)の⑥該当者 修了または修了見込みの高等学校等が発行する、修業年限2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たしていることの証明書を添付してください。
⑩宛 名 票	本学部所定の用紙に所要事項を記入してください。
⑪受験票等送付用封筒	本学部所定の封筒に、受信場所（住所、氏名、郵便番号）を明記し、410円分の切手を必ず貼りつけてください。
⑫在留資格が明記された 住民票	外国人で現に日本に在留している者は、市区町村長が発行する「在留資格が明記された住民票」を提出してください。

【参考資料】高等学校等専攻科修了（見込）証明書作成例

高等学校等専攻科修了証明書 秋田大学長 殿 本校は、学校教育法第58条第2項に規定する高等学校の専攻科であり、下記の者は平成28年文部科学省告示第63号の基準を満たす課程を修了し、大学への編入学資格を有することを証明する。 記 氏名 生年月日 〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇〇〇高等学校専攻科 学校長 〇〇 〇〇

(2) 出願方法等

1) 出願書類等受付期間

令和8年10月5日(月)～10月9日(金) 17時まで(必着)

2) 出願方法

出願書類等は一括し、出願用封筒に入れて、原則として郵送により提出してください。

3) 出願書類等提出先および入試に関する照会先

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1

電話：018-889-2313 E-mail：nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

4) 出願にあたっての留意事項

①出願書類に不備がある場合は、これを受理しません。

②受理した出願書類等の返還および記載事項の変更は認めません。

4. 選抜方法

(1) 学力検査の教科・科目等の内容および配点

調査書、学力検査および面接試問（数学および専門教育科目に関する試問を含む）を総合して判定します。科目および配点は以下のとおりです。

※1 一般教育科目【英語】は筆記試験を課さず、TOEIC[®]のスコアを換算し、評価します。

※2 一般教育科目【数学】は筆記試験を課さず、面接中に口頭試問として実施します。

1) 学力検査実施科目

学 科	コ ー ス	学 力 検 査 科 目	
		一般教育科目	専 門 教 育 科 目
応用化学生物学科	有機・高分子化学 コ ー ス	英語および数学 (前頁記載の※1 および※2参照)	面接（専門科目（化学） の試問を含む）
	応 用 化 学 コ ー ス		面接（化学および物理の 基礎の試問を含む）
環境数物科学科	数 理 科 学 ・ 地 球 環 境 学 コ ー ス		面接（数理科学専門または 地球科学専門の試問を 含む）
	機 能 デ バ イ ス 物 理 コ ー ス		面接（材料理工系または 電気電子系の専門教育科 目の基礎の試問を含む）
社 会 シ ス テ ム 工 学 科	モビリティコース		面接（機械工学または材 料工学の専門教育科目の 基礎に関する試問を含む）
	電気システムコース		面接（電気電子工学の専 門教育科目の基礎の試問 を含む）
	社 会 基 盤 コ ー ス		面接（土木環境工学専門 教育科目の基礎の試問を 含む）

2) 配点

学 科	コ ー ス	一般教育科目 【英語】	面 接			合 計
			一般教育科目 【数学】	専門教育科目	一般面接	
応用化学 生物学科	有 機 ・ 高 分 子 化 学 コ ー ス	100	50	150	100	400
	応 用 化 学 コ ー ス					
環境数物 科 学 科	機能デバイス 物 理 コ ー ス					
社 会 シ ス テ ム 工 学 科	モ ビ リ テ ィ コ ー ス					
	電気システム コ ー ス					
	社 会 基 盤 コ ー ス					

学 科	コ ー ス	一般教育科目 【英語】	面 接		合 計
			一般教育科目 【数学】および 専門教育科目	一般面接	
環境数物 科 学 科	数 理 科 学・ 地 球 環 境 学 コ ー ス	100	200	100	400

5. 試験の日程等

(1) 試験の日程

令和8年10月19日(月) 13時～

(12時30分集合。12時10分から入室可能とします。)

(2) 試験場

秋田大学総合環境理工学部（手形キャンパス：秋田市手形学園町1-1）

(3) 受験票の持参・提示

試験当日は、受験票を忘れずに持参し、試験時間中は机の上に置いてください。

受験票が10月15日(木)までに届いていない場合、秋田大学入試課へ速やかに連絡してください。

6. 合格者の発表

令和8年11月9日(月) 15時（予定）

秋田大学ホームページ内「入試情報」に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書および入学手続書類を送付します。

注）電話等による問い合わせには一切応じません。

Ⅲ. 共通事項

1. 関連学科・コースの判断について

(1) 問い合わせの期間について

関連学科・コースの判断については、以下の期間で秋田大学入試課へ必ず問い合わせを行ってください。関連学科の確認を実施しないまま出願をした場合は、受験を認めない場合があります。

・令和8年9月24日(木)～9月28日(月) 17時まで

(2) 問い合わせの方法について

秋田大学総合環境理工学部ホームページ「入試情報」に掲示している様式に必要事項を記載のうえ、秋田大学入試課（nyushi@jim-u.akita-u.ac.jp）に題名を、「総合環境理工学部編入学試験第2次学生募集関連学科等問い合わせ」とし、メールに添付して送付してください。その後、出願期間前までに各コースの判断を送付します。

(3) 注意事項

自身の所属・出身の学科・コースが関連学科と認められなかった場合は出願を認めない場合があります。

2. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

病気・負傷，身体障害および発達障害等の心身の機能の障害（以下，「障害等」という。）により，受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は，出願に先立ち，本学部所定の用紙に必要事項を記入の上，医師の診断書等を添えて，所定の期日までに入試課に相談してください。日常生活においてごく普通に使用している補聴器，松葉杖，車椅子等を使用して受験する場合や期限後に不慮の事故等により，受験上の配慮が必要となった場合には，速やかに相談してください。

また，障害等の程度によっては，事前の準備が必要となる場合がありますので，本学への出願を迷っている場合でもあらかじめ相談いただき，進路決定等により特別措置が不要となった場合には，その旨を入試課までお知らせください。

なお，事前相談の内容等が合否判定のための資料になることはありません。

○相談先 秋田大学入試課

電話：018－889－2313 E-mail：nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

○事前相談の期限 令和8年9月28日(月)

3. 感染症に関する注意事項

学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症に罹患した場合は，他の受験者等への感染拡大防止の面から，学校保健安全法に準じた取り扱いとし，試験当日までに治癒していない方および出席停止期間を経過していない方は，感染症の種類により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められた場合を除き，原則として受験を認めません。

なお，感染の拡大等により，上記によらず急遽変更する場合は，本学ホームページ(<https://www.akita-u.ac.jp/>)にて連絡します。

4. 受験上の注意事項（各入試区分共通）

- (1) 受験者は，試験開始時刻30分前までに，指定される場所に集合してください。（受験票発送時に集合場所のお知らせを同封します。）
- (2) 試験開始時刻に遅刻した場合は，試験開始時刻後10分以内の遅刻に限り，受験を認めます。
- (3) 試験室ではすべて試験監督の指示に従ってください。
- (4) 携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）等の電子機器類を持参した場合は，集合場所に入る前に必ずアラームの設定を解除し，電源を切っておいてください。試験時間中，かばん等にしまわず，身につけていたり手に持っていた場合は，不正行為となることがあります。
- (5) 受験者（特に遠隔地からの者）は，荒天等による交通機関の乱れを考慮し，前日までに秋田市内に到着する等ゆとりをもった日程を組むよう留意してください。
- (6) 試験当日に体調の悪い方，家族や身近に感染症に罹患している人がいる方などは，感染対策としてマスクの着用を推奨いたします。

5. 入学手続

合格者には入学手続書類を郵送しますので，下記の入学手続期間に入学料を納付するとともに，入学手続書類を郵送により提出してください。

なお，入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は入学を辞退したものとして取り扱います。

(1) 入学手続期間

令和8年11月16日(月)～11月20日(金) (必着)

(2) 納付金

①入学料 282,000円 (予定額)

②授業料 前期分 267,900円 (年額 535,800円) (予定額)

注1) 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

注2) 上記納付金は予定額であり、入学前に入学料が改定された場合には、改定時から入学希望者全員に新入学料が適用されます。また、入学時または在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

注3) 入学手続完了後、特別な事情により令和9年3月31日(水)17時までに入学を辞退した場合には、納付した者の申し出により、所定の手続きのうえ、当該授業料相当額を返還します。

(3) その他

①入学料・授業料は高等教育の修学支援新制度に基づいて免除される制度があります。(高等教育の修学支援新制度については、文部科学省および日本学生支援機構のHPを参照してください。) また、経済的理由等により期限までに入学料の納付が困難であると認められる場合には、選考の上、猶予が認められる制度があります。(詳細は入学手続関係書類でお知らせします。)

②編入学を許可された者には、入学後に編入年次までに修得すべき単位を認定します。詳細は入学関係書類送付時に案内します。

③令和9年3月末までに所定の要件を満たす見込みで受験した合格者が、所定の要件を満たすことができなかった場合は、入学許可を取り消します。

④出願書類に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

⑤入学手続以外の入学関係書類は、令和9年1月下旬(予定)に送付します。

6. 個人の成績等の開示

受験者の入試成績を次により本人に開示します。

(1) 開示内容 総合得点および順位 (A, B, C等のランク区分で開示します。ただし、合格者が3名未満の場合は開示しません。)

(2) 申込期間 令和9年5月6日(木)～令和9年5月31日(月) 必着

(3) 申込者 受験者本人に限ります(代理人は不可)。

(4) 申込方法 郵送で受け付けます。次の書類等により申し込んでください。

・受験票

・入試成績開示申込書(様式任意)

※A4の用紙に申込年月日、氏名、郵便番号・住所・電話番号、受験番号を受験者本人が記載したもの

・入試成績送付用封筒(長形3号封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、簡易書留460円分の切手を貼ったもの)

(5) 申込先 秋田大学入試課理工担当

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1 電話: 018-889-2313

(6) 開示方法 申込みが受理されてから概ね10日以内に、受験者本人あて簡易書留郵便で送付します。